

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業計画期間	平成28年度～平成32年度（5年間）																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（そうや） 宗谷森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の最北に位置する天塩川広域流域のうち、宗谷総合振興局管内となる稚内市・猿払村・浜頓別町・中頓別町・枝幸町・豊富町・幌延町・礼文島・利尻町・利尻富士町の1市8町1村に所在する約170千haの国有林を対象としている。</p> <p>本森林計画区は、利尻・礼文両島の地域と本島地域に大別され、利尻・礼文地域では、利尻山・礼文岳を擁し、我が国最北のエゾマツ、トドマツの北方系針葉樹林や豊富な高山植物など、多様な森林群落等を形成していることから、利尻礼文サロベツ国立公園や保護林に指定されている。</p> <p>更にこの地域は、島内の水源にもなっており、海岸線近くまで急傾斜地が迫る山地災害の危険地域にもなっていることから、大半は水源かん養保安林や土砂流出防備保安林に指定されている。</p> <p>また、本島地域では、幌尻山・知駒岳・函岳等を中心に、増幌川・猿払川・頓別川・徳志別川・下苗大路川などを有する低山生の山地でトドマツ・エゾマツ・ミズナラ・センノキ・ダケカンバ等が混交する天然林とトドマツ・カラマツ・アカエゾマツ等の人工林で構成されている。この河川上流域の殆どが国有林であり、下流域の市町村の水源として大部分が水源かん養保安林に指定されている。</p> <p>なお、海岸部の防風保安林等については、風害等気象害を防備する機能の発揮が期待されており、ラムサール条約に登録されているサロベツ湿原の上流部の国有林については、適切な森林整備を図るとともに、ラムサール条約の登録湿地、北オホーツク道立自然公園、クッチャロ湖周辺は、保護林に指定されている。</p> <p>本事業は、これらの地域の特性を踏まえて、森林の有する公益的機能の持続的発揮、また、地球温暖化の防止や生物多様性の保全等に貢献するため、積極的に間伐を推進するとともに、針広混交林化・複層林化等を促進するため、育成複層林へ導くための施業等を推進し、健全で多様な森林の整備・保全及びその基盤となる林道等の路網の整備を進める。この場合、土砂の流出、水質汚濁の防止等に配慮し、森林生態系の保全に努めるものとする。</p>																						
	<table border="0"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>921 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>16,678 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>35.3 Km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.3 Km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>2,010,476 千円</td> </tr> </table>	主な事業内容	森林整備	更新面積	921 ha			保育面積	16,678 ha		路網整備	開設延長	35.3 Km			改良延長	0.3 Km	総事業費			2,010,476 千円		
主な事業内容	森林整備	更新面積	921 ha																				
		保育面積	16,678 ha																				
	路網整備	開設延長	35.3 Km																				
		改良延長	0.3 Km																				
総事業費			2,010,476 千円																				
費用対効果分析	総便益（B）	18,987,860	千円																				
	総費用（C）	2,261,659	千円																				
	分析結果（B / C）	8.40																					
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	必要性、効率性、有効性の観点から事業実施が妥当であると考える。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、山地災害防止機能等の発揮が求められている地域であり、更に、地球温暖化防止対策や国土保全の観点からも事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 本地域は、地域の水源として基幹産業である農業の振興に資する役割のほか、山地災害の防止に対する機能の発揮が求められており、計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

便 益 集 計 表

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 北海道

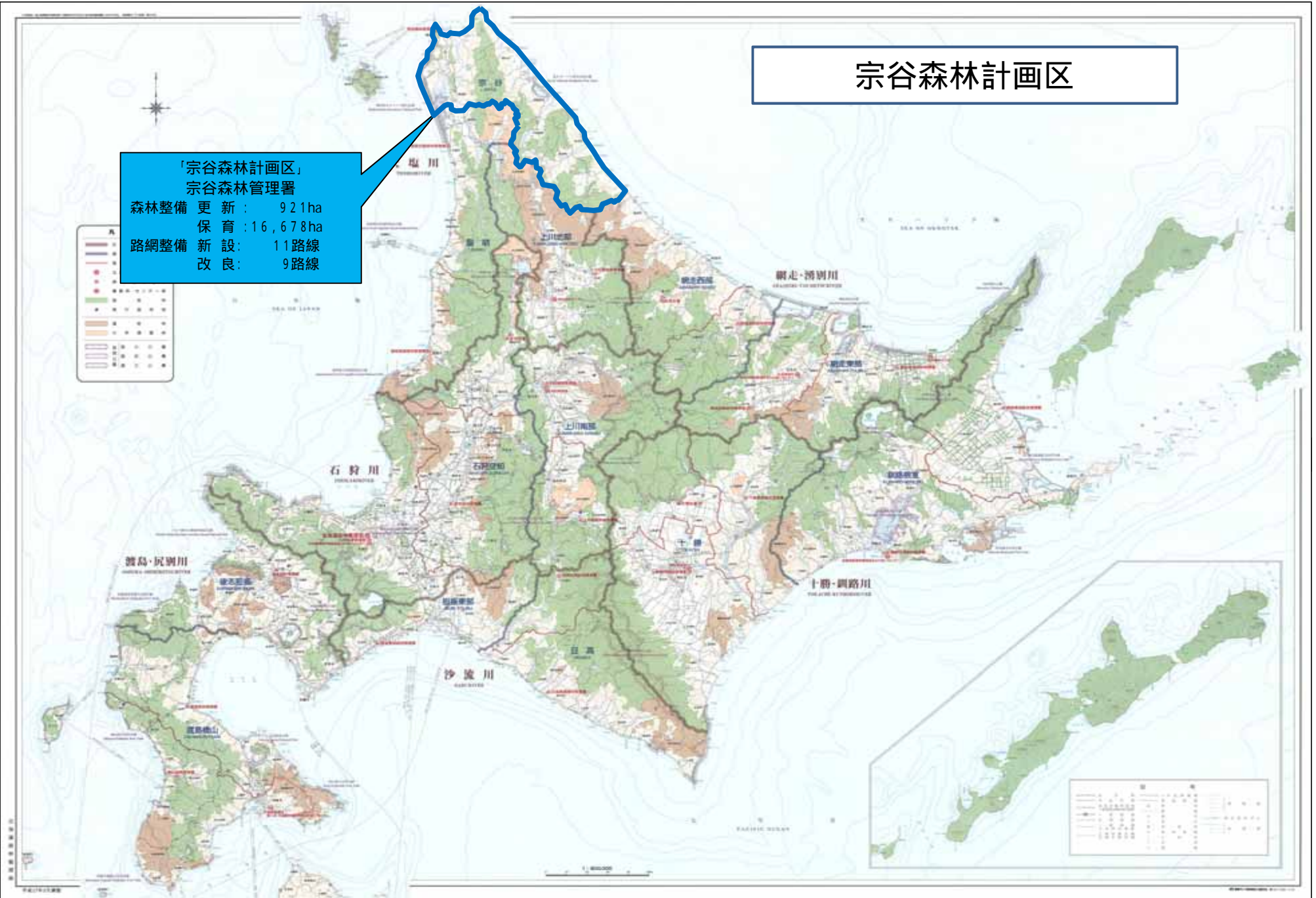
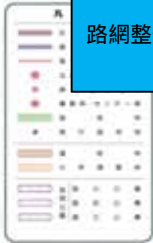
施行箇所: 宗谷森林計画区

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額 (千円)	備 考
水源 ^{かん} 涵養便益	洪水防止便益	2,835,598	
	流域貯水便益	1,249,313	
	水質浄化便益	2,748,073	
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,097,781	
環境保全便益	炭素固定便益	1,756,410	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	375,645	
	木材利用増進便益	446,268	
	木材生産確保・増進便益	2,023,199	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	171	
	森林管理等経費縮減便益	35,806	
	森林整備促進便益	1,419,596	
総 便 益 (B)		18,987,860	
総 費 用 (C)		2,261,659	
費用便益比	B ÷ C =		8.40

宗谷森林計画区

「宗谷森林計画区」
宗谷森林管理署
森林整備 更新： 921ha
 保育：16,678ha
路網整備 新設： 11路線
 改良： 9路線



宗谷森林計画区(宗谷森林管理署)
森林環境保全整備事業



宗谷森林管理署 クトネベツ林道
縮尺 1:50,000

開設イメージ
ポールシベツ林道(林業専用道)新設工事
(平成27年度竣工・枝幸町内国有林)

